

Canvas X Draw 7 for Mac

ビルド 7.0.1.7042 リリースノート

改善事項

- 初期リリースでは一時未対応になっていたダークモードに対応しました。
- 虫めがねツールを選択した際、プロパティバーに「ウインドウに合わせる」ボタンが追加されました。
- ページクロップツールを選択すると [スケールタイプ] オプションがプロパティバーに追加されました。スケールタイプとして[クロップしてページサイズを変更]、[ページに合わせてスケール]、[オブジェクトのみクロップ]があります。
- SVG 書き出しオプションダイアログで[選択範囲の境界枠を使用]が追加された事で SVG/SVGZ 形式で選択範囲を保存できるようになりました。
- ページナビゲーターパレットにコンテキストメニュー（プロパティ、削除、挿入、複製、次へ）が追加されました。*ここでのコンテキストメニューはマウス右クリックでのみ表示が可能です。
- [テキスト]メニュー> [挿入]> [ファイル名]を挿入が追加されました。これによりファイル名をヘッダーとフッターに表示することが可能となりました。

解決した問題

- ドキュメントレイアウトパレット上で、今いるレイヤー以外のレイヤーでは可視と不可視をオン/オフできない問題が解決しました。
- 鏡像機能で編集を行う際不適切なコンテキストメニューが表示される問題が解決しました。

- 配置ダイアログのフォーマット欄に全ての配置可能なファイル形式が表示されない問題が解決しました。
- アノテーションツールを選択した際にプロパティバーに表示されるプリセットリストは他のツールを選択しても消去されない問題が解決しました。
- パス計測ツールを選択した際にプロパティバーに表示されるプリセットリストは他のツールを選択しても消去されない問題が解決しました。
- QR コードの情報がステータスバーのオブジェクトの詳細欄に表示されない問題が解決しました。
- 寸法ツールで計測したオブジェクトを SVG/SVGZ 形式で書き出す際、計測数値が書き出されない問題が解決しました。
- Excel から表オブジェクトへ数値をコピー・ペーストする際、所定のセルへ正しくペーストされない問題が解決しました。
- プリセットパレットで複数のインクを選択しパレット内の別の場所へ移動しようとしても移動が出来ない問題が解決しました。
- 複数のファイルが開かれている状態で尚且つページナビゲーターが表示されていると、ドキュメントパレットから複数のシート/ページ/フレーム/スライドを一度に消去できない問題が解決しました。
- スマートラインが各オブジェクトの前面に配置され中心点で接続されている際に発生する問題が解決しました。
- テンプレートファイル (*.tpl)が正しく配置されない問題が解決しました。
- プリセットパレットからストロークを消去する際、複数のストロークを選択できない問題が解決しました。
- フォントのスタイル（上付き、下付き、タイトル）をテキストオブジェクトに適用した後、テキストに結合を適用すると効果が除去されてしまう問題が解決しました。

- 今いるドキュメントから別のドキュメントへ移動すると、ナビゲーターの倍率が正しく表示されない問題が解決しました。
- DWG/DXF ファイルを開く、もしくは、配置しようとした際に表示されるレイアウトダイアログボックスに関連した問題が解決しました。
- 寸法ツールのプロパティバーから日本語フォントを指定できなかった不具合が解決しました。
- パス計測オブジェクトを選択する際、ステータスバーのオブジェクトの詳細欄に表示される情報の文字化けが解決しました。
- 表オブジェクトのテキストサイズをプロパティバーの+A もしくは-A アイコンで大きくしたり小さくしたりした後、表オブジェクトが編集モード状態の中 Tab キーでセルを移動する際に発生していた問題が解決しました。
- プリントダイアログボックスを一旦開きその後閉じた後に JPEG ファイルを開くと発生する不具合が解決しました。

既知の問題

- ビルト 7042 においてはまだ macOS Big Sur 対応におけるすべての確認はされていません。
- ダークモードを有効にするにはアプリケーションを再起動する必要があります。

ビルド 7.0.7023 リリースノート

新機能

- **QR コード** : スマートフォンなどのアプリで解読可能な QR コードを作成してドキュメントに配置することができます。

- **パス計測ツール**：このツールで多角形を描くとその距離を計測し、多角形に設定された速度のパラメータからその距離に必要な時間や徒歩を算出することができます。
- **インク置き換え**：[編集]メニュー>[インク置き換え]を追加しました。

改善事項

- 全般的なドローイング、操作速度の改善がされています。Canvas Draw 6 に比較すると速度は6倍近く速くなりました。（この変更に伴い、現時点ではダークモードには対応していません）
- 表オブジェクトのプロパティバーに選択範囲ドロップリストが追加されました。[偶数行/列を選択]、[奇数行/列を選択]などのオプションを選べます。
- 表オブジェクトのプロパティバーに[データを並べ替え...]ボタンが追加されました。AからZ、ZからA、昇順、降順でソートが行えます
- 表オブジェクトを作成した際プロパティバーに[テキストとしてコピー]ボタンが追加されました。これにより、データをスプレッドシートの列と行へコピーできます。
- [編集]メニュー>[同じ位置にペースト] ([command]+[shift]+V)が追加されました。これにより、コピー元オブジェクトが配置されていた位置と同じ位置へペーストできます。
- スマートシェイプツールのプロパティバーに[等辺]オプションが追加されました。[等辺]オプションをオンにすると、三角形、ひし形、五角形、六角形、八角形等の辺は同じ長さで描画ができます。
- 画像ファイルを開くとデフォルトのドキュメント単位はピクセルで表示されるようになりました。
- [パス]メニュー>[多角形に変換]を選択するとあらゆるベクトル及びテキストオブジェクトを多角形に変換します。

- 複数のオブジェクトを同時に選択し境界枠をドラッグすることで縦横比を保った状態で一度にサイズを変更することができるようになりました。
- カメラーツールのプロパティバーに[ページ全体]オプションが追加されました。これを選択すると自動的にページ全体が撮影対象となります。
- ドキュメントレイアウトパレット内でオブジェクトを選択し、マウス右クリックにてコンテキストメニューを表示して、コピー/ペーストなどの操作が可能となりました。
- アノテーションツールを選択するとプロパティバーにラインタイプが表示され、異なるタイプを選択することができます。ラインのプリセットは独自に作成しファイルとして保存しておき、他のユーザーと共有することも可能です。
- テキストのプロパティバーにフォントサイズを（大きく）[A+]、（小さく）[A-] アイコンが追加されました。
- パイパーリンクポインターツールは削除されました。その代わりに、選択ツールで[command]+クリックし既定ウェブブラウザを起動することができるようになりました。
- 複数のドキュメントを開いている場合、[command]+[1]、[command]+[2] など[command] キーと[0]から[9]の数値を組み合わせたキーボードショートカットでドキュメントの切り替えが可能となりました。
- オブジェクトが何も選択されていない状態で表示されるプロパティバーに[トリムビュー]チェックボックスが追加されました。これを選択した場合、ドキュメント作業領域外にあるオブジェクトはページクロップしたかのように一時的に隠すことが可能です。
- オブジェクトを1つだけ選択した場合においても、境界枠で整列ができるようになりました。
- プリセットパレットのポップアップアイコン（右側に表示される三角のアイコン）が追加されました。これをクリックすると、フロートされた状態でパレットを開き続けることが可能です。

- グループ化されたオブジェクト、ベジエ曲線もしくは多辺形が選択されている場合も、ダイナミック効果を適用できるようになりました。

解決した問題

- インデックスカラーの画像を縮小すると残像が残る問題が解決しました。
- 閉じた多角形オブジェクトにシンボルペンストロークを適用すると、最後のポイント（点）に余分なシンボルが表示されてしまう問題が解決しました。
- 最後に使用した時のプロパティバーの[スマート吸着]オン/オフ状態が再起動時に正しく読み込まれない問題が解決しました。
- ドキュメントレイアウトパレットの検索機能は現行ページで最初にマッチしたアイテム以外は検索結果として認識されない問題が解決しました。
- スムース多角形オブジェクトは多角形としてステータスバーに表示されてしまう問題が解決しました。
- ドキュメントレイアウトパレットのパレット上部にある各種アイコン上にマウスを移動させてもツールのヒントが表示されない問題が解決しました。
- プリセットパレットから複数のインクを同時に削除できない問題が解決しました。
- 編集モード時にプリセットパレットのポップアップから[適用する属性をデフォルトに設定]にチェックを入れようとしても、設定オプションがグレーアウトされてしまう問題が解決しました。
- 高解像度イメージの複雑な領域を選択する際、投げ縄ツールやマーキツールを使用すると動作速度が遅くなる問題が解決しました。
- 大文字/小文字と言ったテキストのケースは書式パレットのスタイルに登録されない問題が解決しました。

- プロパティバーでフォントサイズを変更してもリターンキーを押さない限り変更が有効にならない問題が解決しました。
- 複数の表オブジェクトをドキュメント上にコピー/ペーストできない問題が解決しました。
- 現行の設定が矢印になっていると表オブジェクトは矢印で作成されてしまう問題が解決しました。
- 表オブジェクトのセルの余白をゼロ (0)に設定できない問題が解決しました。
- ストロークの太さや色を一度に複数の表オブジェクトに適用できない問題が解決しました。
- スマートシェイプオブジェクトに太目のストロークを適用すると線が重なる部分がキレイに閉じて表示されない問題が解決しました。
- 新しくテキストチャイックを作成しようとする、属性パレットでインクの種類が正しく切り替わらない問題が解決しました。
- 検索パレットでフォントの属性を指定した上で検索をしようとする、[置換]、[全て置換]が動作しない問題が解決しました。
- アノテーションツールで作成した矢印の接続線をフローチャートツールで使用しようとしても表示されない問題が解決しました。
- [取り消す]を行ってもリサイズしたオブジェクトと寸法を一度に同時に元に戻せない問題が解決しました。
- [面積/周囲でスケール]を開いたパスのオブジェクトに適用すると正しくスケールされない問題が解決しました。
- 極細ストロークは SVG 形式で正しくエクスポートされない問題が解決しました。
- スマートマウスがオンの場合、表オブジェクトのセルテキストを選択する際に生じていた問題が解決しました。

- ヘッダーやフッターに適用した日付や時刻スタンプを別のものに変更する際に生じていた問題が解決しました。
- レンズオブジェクトにスマートベクトル塗りツールを適用しようとした際に発生していた問題が解決しました。
- [control]キーを押した状態で虫眼鏡ツールをドラッグすると発生していた問題が解決しました。
- 複製スペシャルダイアログボックスを開いた後、ドキュメントスケールを適用しようとするとうる問題が解決しました。
- ベクトルオブジェクトのパス編集モードで複数のアンカーポイントを選択し、[編集]メニューから[選択範囲を反転]を適用する際に発生していた問題が解決しました。
- 縦書きで和文テキストを入力すると日本語変換リストが入力したテキストに被ってしまう問題が解決しました。
- 縦書きで和文テキストを入力すると日本語変換リストの内容が横書きテキストで表示されてしまう問題が解決しました。
- 和文テキストを縮尺しようとする、縦のスケールがプロパティバーからも書式パレットからも上手くいかない問題が解決しました。

サポートされているファイル形式

読み込み：

AI, BMP, CAL, CGM, CNV, CV5, CVDRAW, CVDTPL, CVI, CVS, CVX, DWG, DXF, EPS, GIF, ICO, IFF, JPG, PCD, PCX, PDF, PNG, PRN, PS, PSD, RTF, TGA, TIF, TPL, TXT, WBMP

書き出し：

BMP, CAL, CGM, CVD, CVDTPL, DWG, DXF, GIF, HTM, ICO, IFF, JPG, PCX, PDF, PNG, PSD, SVG, SVGZ, TIF, WBMP

既知の問題

- このバージョンでは macOS のダークモードは対応していません。
- ハイパーリンクポインタはツールボックスから削除されました。
- [command]+ドラッグでオブジェクトを複製する場合は、オブジェクトを一度選択した後、少しドラッグしはじめた時点で[command]キーを押してください。
- [command]+[shift]+V ショートカットキーは[編集]メニュー>[選択範囲内でペースト]から[同じ位置にペースト]に変更されました。
- 最初に起動する際[テキスト]メニュー>[フォント]またはプロパティバー上のフォントドロップダウンメニューをクリックすると、フォントグリフのプレビューが生成される為若干時間がかかる場合があります。
- 書式パレットでは「標準」「太字」「イタリック」スタイルアイコンは使用できません。
- 以前の Canvas バージョンで (Mac/Win) 書式パレットから作成した文字や段落スタイルは Canvas Draw 6 と互換性がありません。
- Canvas/Canvas X Windows 版で作成したスライドドキュメントの[画面切り替え]には対応していません。切り替えの名称は“不明”という形で表示されます。
- PDF - Adobe® Acrobat® (Advanced)への書き出しは Postscript Type 1、Dfonts、和文フォントを使用して入力したテキストをパスへ変換します。これは [フォントの埋め込み]で[フォントサブセットを埋め込み]を選択しても同様の結果となります。これら PDF ファイルの表示やプリントは問題ありません。

サポートされていない事項

- 自動ハイフンには対応していません。
- ドロップキャップ機能には対応していません。